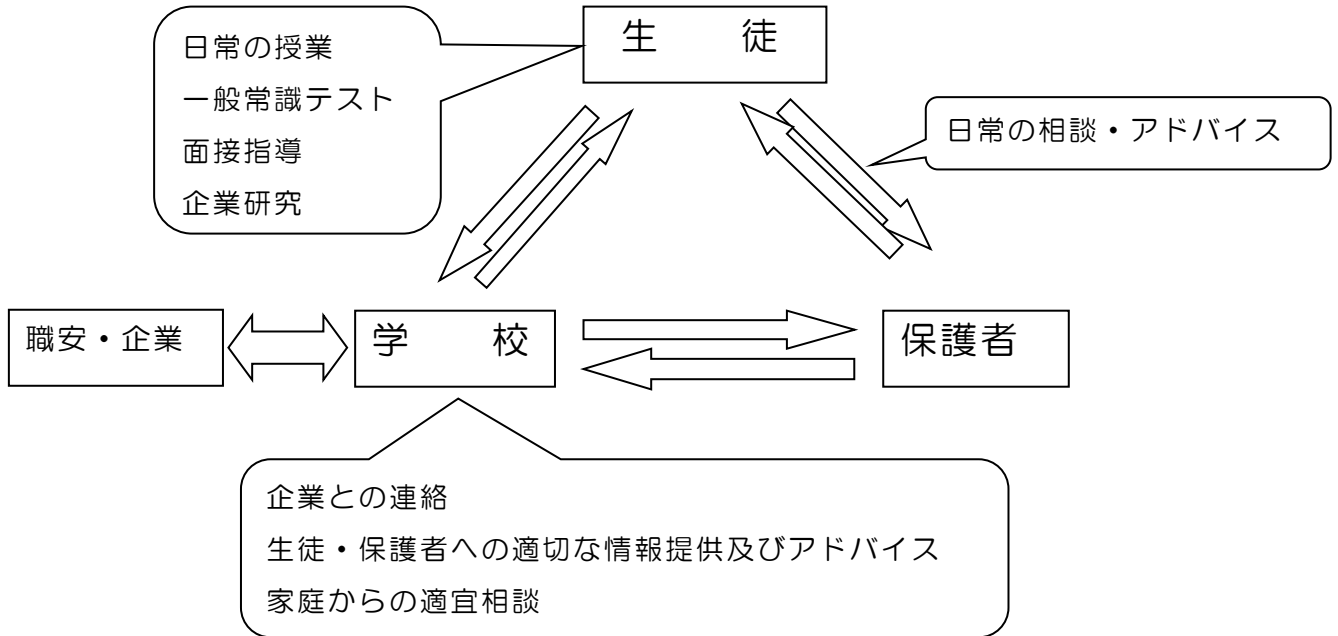


就職希望保護者説明会

1 高校生の就職の仕組み

学校・生徒・保護者・企業・職業安定所の関係



- 生徒や保護者と企業は直接連絡せず、必ず間に学校と職業安定所が入ります。
- 学校、職業安定所を通して決めた企業から入社内定の通知があった場合、絶対に取り消しはできません。
- 入社後、求人票に示された労働条件と実際の労働条件が異なっている場合は、職業安定所が責任を持って、相談に乗ってくれます。

2 今、企業が求めているもの

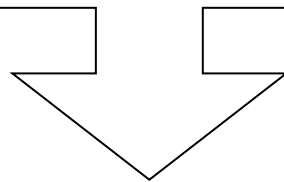
- 第1位：コミュニケーション能力
- 第2位：基本的な生活習慣
言葉使い・マナー
- 第3位：協調性・社会性
- 第4位：職業観・就労意欲・責任感
- 第5位：基礎学力

- 何事も積極的に行動するか
- 素直さや責任感があるか
- 様々な個性の人と協調性があるか
- 困難に負けない強い意志があるか
- 何事からも学ぼうとする向上心があるか
- 社会に対し自分の意見をもっているか

企業が求める人材になるには、学校生活全般を頑張る！
授業・欠席○遅刻○早退○・あいさつ・部活動
委員会や係活動・学校行事・清掃・提出物

3 正採用とフリーター・・・「フリーターはつukらない！」 を目標としています

- フリーター生活が長くなると、正社員への転職が難しくなる
(いつかは正社員になれるだろう→これが危ない。一度なったら抜け出せなくなります。)
- フリーターに対する企業側からの評価は相当厳しい。
(フリーターは職歴にはなりません。)
- 現在フリーターをしている半数以上が正社員を希望している。
- 賃金や福利厚生など労働条件面で正社員と格差大
(正社員は雇用が安定。賞与・退職金がある。福利厚生・社員研修制度が充実。昇進・昇給がある。)
- 「進学したいが学費がない。まずはアルバイトをして学費を貯めてから進学をする。」 これが危ない!
「子供が学校の求人票にはいいところがないと言っているの
で・・・好きにさせます。」 これが危ない!



正社員として就職するには、学校を卒業する時期が一番有利

4 就職先を決める上で、注意していただきたいこと

① 学校斡旋

- 企業への窓口は学校です。企業への資料の請求・求人票送付の依頼・企業への応募等すべて学校を通して行います。したがって、何か企業へ連絡をする必要が生じた場合は、必ず担任に連絡をして下さい。
- 今年度の求人は、7月1日から開始となりますが、本校では、令和元年度の求人一覧を参考に希望企業を選び、希望調査をおこない、その後選考会議となります。変更は、今年度の求人が来なかった場合のみとなります。
- 夏休みの企業見学は1人につき1社の場合が殆どです。(例年9割の生徒が1社のみ
の見学です。)ただし、競合がない企業や本校から複数の採用が見込める企業
については、複数社の見学を勧めています。見学にいった企業が条件に合えば受験する
こととなります。内定後は絶対に取り消しできません。

② 縁故就職

- 縁故就職の場合でも、トラブルを避けるため、できるだけ学校を通して求人票の送付を受けることをお勧めします。
- 学校と企業との間で連絡を取り合わなければならないことがあります。その場合は斡旋依頼書の提出など、一般企業と変わらない手続きが必要となります。縁故の程

度、応募書類の必要性、学校との連絡の必要性やその時期等を担任に御連絡下さい。

③ 公務員受験

- 公務員と民間企業は基本的に併願できません。 公務員試験が不合格となった場合は、二次募集の企業を受験することになり、優良企業の求人がほぼなくなります。
そのため公務員試験に不合格だった場合は公務員対策の専門学校に通うのが一般的です。 入学諸費用（10月に100万）を用意する必要があります。
- 公務員は例年高倍率となっています。今後も高いことが予想されます。事務系（市役所など）は学力試験や面接試験で、かなり高いレベルを要求してきます。また公安系（警察・消防など）も一次で学科試験を課されます。
- 公務員希望者は計画性を持って、早目の準備をしていくことが大切です。また試験も独特であるため、希望する職の試験の前に、練習の意味で他の職を受験することをお勧めします。さらに公務員試験の関係書類は各自で取り寄せ出願することになります。提出期限など余裕を持って準備をして下さい。

④ 分野の希望の変更について

- 現在進学を希望だが、就職の可能性がある場合、すぐに担任と相談をしてください。希望提出が遅くなると、1回目の選考会議に間に合いません。
- 求人一覧には希望企業や職種がなく、高校卒での就職ではなく進学を希望する場合や進学費用等が気になる場合、すぐに担任と相談してください。

5 本校の昨年度の状況

求人数・・・若干増加傾向にあるが、職種に偏り（昨年8月までに約450社の求人）

求人企業・・・建築・福祉・小売業（特にスーパー）が増加

求人職種・・・建築・介護・販売が増加 一般事務は減少

採用状況・・・9月の試験で90%が合格（10月段階では100%）

（昨年度の問題事項）

- 一昨年度、求人があった企業からの求人がなかった。 →同じ職種の企業を受験
- 専門学校を希望していたが、「やりたいことが見つからない」ので、急遽就職に変更
→9月の試験に間に合わず、二次募集の企業に決定
- 就職試験を受ける直前（9月）に大学進学に変更した。 →先方の企業に大迷惑
- 夏休みに企業から連絡がきたが、本人となかなか連絡がとれなかった。
- 公務員試験を不合格になった後に民間就職に変更した。
→1月に求人が残った会社の中から企業選択

※ **就職者の進路決定は進学希望の生徒よりかなり早い時期になります。**
「6月の保護者面談には希望企業を絞り込んでいなければならない。」
ということをお子様ともう1度ご確認下さい。例年、保護者の方の中には「子供に任せてある」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、一番身

近な社会人として、お子様にぜひアドバイスや助言をお願い致します。

6 今後の日程

① おおまかな流れ

企業研究→絞り込み→希望決定→企業見学→受験企業決定→書類提出→就職試験→内定

- 昨年度の求人票を読み込む。希望する3社～5社を5月1日の第1回進路希望調査までに決める。6月18日に就職希望先申込書・斡旋依頼書を提出後は基本的に変更不可。
(5月の調査で競合している場合など、進路や担任から連絡。)
- 7月9日に今年度の求人票で希望企業の確認。求人票がない場合は進路に相談すること。
新たに希望する企業があった場合も進路に相談すること。
- 学校に無断で企業に連絡をすることは絶対にしない。(法令違反です。)

② 就職者の日程 (変更になる場合があります。)

4月	18(土)	保護者説明会	現状と今後の流れを説明。
	21,23	面接練習	出入り練習、面接ノートの完成。
	30(木)	一般常識テスト	本番の就職試験に向けて早めの対策。
5月	1(金)	第1回進路希望調査〆切	これを基本に、競合などを見て調整していく。
	7(木)	進路講演会(6限)	就職者に必要な心構えを知る。
	12(木)	SPI対策講座	就職試験の学科対策
	8~15	第1回模擬面接	就職試験の際の3年の成績は1学期のみ。頑張るとき!
	19~21	中間考査	就職試験の際の3年の成績は1学期のみ。頑張るとき!
	21(木)	進路用写真撮影	清潔感。男子の長髪・ひげ、女子の顔が髪で隠れた状態は明らかに×。特に眉毛には、手を加えない。
6月	4~10	保護者面談	希望する職種と企業を3社。この3社が希望提出に向けての基本。縁故を考えている者は企業名・職種の確定。
	4~10	第2回模擬面接	校外から講師を招く。高校で頑張ったことをまとめる。
	11,25	履歴書の書き方	全体練習。志望動機以外はこれを見本とする。
	18(木)	「就職希望先」の提出	3社以上。今後は原則、希望変更はできない。
	18(木)	「就職斡旋依頼書」の提出	保護者・生徒と学校の正式契約書。必ず保護者の方に書いていただき、印を押してもらうこと。
7月	1(水)	求人票受付開始	7/9(火)テスト終了後、求人票整理と説明会あり。
	6~9	期末考査	「一番重要なテスト?」後悔の残らないように。 期末最終日に今年度の求人公開→志望確認→選考会議
	10~17	第3回模擬面接	校外から講師を招く。志望動機を整理する。
	20(月)	企業見学説明会	見学に向けての全体注意と日程等の個別連絡。
	21~	企業見学	「見学」だが、選考されていると考える。身だしなみ、言葉遣い、時間厳守。質問を5個以上考える。
履歴書の準備		見学後、受験する企業が決定したらすぐに作成。	
8	30,31	書類送付	履歴書・調査書(担任が作成)などを企業に送付。

9 月	初旬	第3回模擬面接	校外から講師を招く。就職試験直前確認。
	16(水)	就職試験開始	企業から個別に連絡があります。

※内定後は、お礼状を書き承諾書等の書類を作成します。